

TRAFFIC SCOPE

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

交通参加者の行動を観察する 特別編

緊急事態宣言が解除された東京都内でクルマ、バイク、自転車、歩行者を観察

今回の「TRAFFIC SCOPE」では緊急事態宣言が解除され、日常を取り戻しつつある東京都内でクルマ、バイク、自転車、歩行者の様子を観察した。観察は警視庁の交通事故発生マップ (<https://www2.wagmap.jp/jikomap/>) から確認し、今年に入って交通死亡事故が発生した場所で実施。

観察場所①

豊島区千早1丁目

左側からの追い越し/追い抜きは危険!

ここでは路肩(車道外側線の外側)を走行するバイクと左折しようとする軽乗用車の衝突事故が発生し、50代のライダーが死亡した。事故現場は、山手通り「要町一丁目」交差点から100mほど離れた路地の入口。観察を行った時間帯は事故が発生した18時台。仕事からの帰宅途中と思われるバイクが多かった。路肩を通行したバイクは約1割。前方を走るクルマを追い越し/追い

抜きのために路肩を通行しているようで、車道(車道外側線の内側)を通行するバイクと比較して速度が高いと感じられた。観察中、3台のクルマがこの路地を左折していたが、30m以上手前でウィンカーを点滅させていたクルマは1台だった。前方のクルマが突然、路地に左折する場合もあり、左側からの追い越し/追い抜きはたいへん危険だ。ライダーは厳に慎むべきである。一方、ドライバーも左折時、早めに合図を出し、左後方にバイクや自転車がないか目視で確認しなければならない。

観察日時/6月2日(火) 18:00~19:00
天候/晴れ

●二輪車の通行場所(台)

車道(車道外側線の内側)	路肩(車道外側線の外側)	合計
82 (87.2%)	12 (12.8%)	94



車道の左側端(車道外側線の内側)を通行するバイク



路肩を通行する二輪車



台数は少なかったが、路地に左折するクルマも見られた



駐車車両を避けるために路肩から出てくる自転車

観察場所②

練馬区錦2丁目

クルマの動きを意識していない自転車が多い

ここでは車道を逆走(右側通行)してきた自転車と左折する大型貨物車との衝突事故が発生し、80代の自転車利用者が死亡した。事故現場となった「練馬北町陸橋」交差点は環状八号線から国道254号への合流場所。クルマ・バイクは合流の際、一時停止して安全確認をしなければならない(写真参照)。観察中、クルマ・バイクのほとんどは停止線の手前で一時

停止していたが、右後方からクルマが来ない場合は一時停止せずに合流していた。合流場所の手前には信号機のない横断歩道があり、ここを通行する自転車が多かったが、約6割が安全確認をせずに横断歩道へと進入した。この場所を通行するクルマ・バイクが少ない(観察1時間で9台)ためと考えられる。安全確認を省略することは、たいへん危険である。「いつもクルマが来ないから大丈夫」と油断せず、道路を横断する際は必ず安全確認をしてほしい。

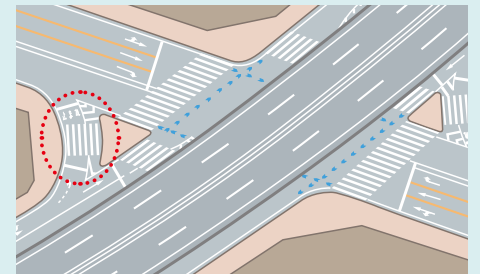
観察日時/6月2日(火) 16:20~17:20
天候/晴れ

●信号機のない横断歩道を通行する自転車の安全確認状況(台)

安全確認した	安全確認していない	合計
67 (36.8%)	115 (63.2%)	182



合流しようとする道路にクルマがない時は停止線の手前で一時停止しない



「練馬北町陸橋」交差点



安全確認をせずに横断歩道に進入する自転車



スマートフォンに集中し、安全確認せずに横断歩道を渡る歩行者

観察場所③

江東区北砂3丁目

右左折時に歩行者を優先させる車両が多い

ここでは横断中の歩行者と右折車両の衝突事故が発生し、70代の歩行者が死亡した。事故現場となった「進開橋南詰」交差点の近くには病院や大型ショッピングモールがあり、観察を実施した昼過ぎは歩行者や自転車の通行量が多かった。信号機には右折矢印信号がなく、右折車両は対向車線の車両が途切れるタイミングで右折しなければ

ならない。右左折時は歩行者用信号機も青のため、横断歩道には自転車や歩行者の往来があり、ほとんどのドライバー・ライダーが周囲の状況を確認してから通行していた。観察中、歩行者用信号機が赤に変わった後、周囲に注意を払う様子もなく、横断歩道に進入する歩行者・自転車が散見された。ドライバーは歩行者用信号機が赤になっても、横断してくる歩行者・自転車に注意しなければならない。そして、歩行者もしっかり交通ルールを守った行動をしてもらいたい。

観察日時/6月2日(火) 13:00~14:00
天候/晴れ

●右左折する車両の歩行者保護状況(台)

		合計		34
歩行者・自転車を優先させた	四輪車	26	28 (82.4%)	
	二輪車	2		
歩行者・自転車を優先せずに通過した	四輪車	5	6 (17.6%)	
	二輪車	1		



横断歩道に歩行者がいる時は、多くのクルマが歩行者保護を行っていた



歩行者用信号機が青点滅や赤になっても渡る歩行者がいた



平日の昼過ぎだったが、自転車に乗る子どもも散見された